

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	6119 平面表現基礎演習			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	18
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	月曜4限				
教室	G211教室				
代表教員	椛田 ちひろ				
担当教員	椛田 ちひろ				
テーマと到達目標	テーマ：表現研究 到達目標：表現における基礎知識の習得。また、表現における応用・発展的な思考を身につけることができる。				
概要	我々はなぜ表現するのだろうか？実際の事例を通じて学ぶことで、現在を生きる作家が表現するために必要な視点とは何かを考察し、表現をするための思考や批評するための能力を養う。科目名は「平面表現」だが、実際には平面以外の表現も多く取り扱う。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	はじめに：表象とは何か？				対面授業
第2回	意味するものとされるもの				対面授業
第3回	演習1：問題提起				対面授業
第4回	演習2：顕在化させる				対面授業
第5回	演習3：物語と記憶				対面授業
第6回	演習4：身体				対面授業
第7回	演習5：コミュニケーション				対面授業
第8回	演習6：アイデンティティ				対面授業
第9回	演習7：制作と私性				対面授業
第10回	演習8：観客の視座1(他者)				対面授業
第11回	演習9：観客の視座2(場)				対面授業
第12回	演習：観客の視座3(社会)				対面授業
第13回	演習：他者に作品を示す1(グローバル)				対面授業
第14回	演習：他者に作品を示す2(ダイバーシティ)				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	成績は、毎授業での演習課題の評価(50%)および期末課題の評価(50%)を総合して算出する。 演習課題の提出回数が全回数の3分の2以上であること、および期末課題を提出していることを単位取得の条件とする。				
履修にあたっての留意事項	各回の授業前半では理論解説およびグループディスカッションを実施し、後半では作品コンセプトの作成を目的とした紙上演習を行う。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	G学科				

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	<p>「芸術学」渡辺護著、東京大学出版会 「広島のをなぜピカっとさせてはいけないのか」Chim↑Pom編、阿部謙一編、河出書房新社</p> <p>上記以外については授業内で指示する</p>	参考文献(ISBN)	<p>「芸術学」渡辺護著、東京大学出版会 「広島のをなぜピカっとさせてはいけないのか」Chim↑Pom編、阿部謙一編、河出書房新社</p> <p>上記以外については授業内で指示する</p>

◆合理的配慮

<p>本学における修学支援基本方針について</p>	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
---------------------------	---